

＜体調不良による登園について＞

9月中旬より園内で体調不良での欠席が増えております。長岡市は『インフルエンザ』が一部の学校、保育園等で流行しており、現在も続いております。その他、年間を通して様々な感染症が季節に関係のなく出ている状況です。園では10月の作品展前より幼児クラスを中心に発熱、咳のお子さんがとても増え、その後、未満児クラスにも同症状のお子さんが増えております。受診時に「ただの風邪」「ただのお腹の風邪」など診断されるケースが多いです。

その為、集団保育を行うにあたり、全ての子ども達に安全な保育を提供するため、保護者様へのご理解とご協力が必要になります。当園では、子ども家庭庁の「保育園における感染対策ガイドライン」をもとに感染対策を行っており、大塚医師の内科健診でのお話をふまえて、以下をご覧になり、対象のお子さんはご家庭、又は病後児保育で経過を見ていただきますよう、お願い致します。

Q1 「ただの風邪」は登園してよいのか

受診をし、医師より「食事中、睡眠中、活動中などに咳は出ているけれど、食べることができる、咳はあるけれど眠ることができるので保育園可能」と言われ、薬ももらったので登園しました。

A：「保育園の登園基準に従ってください」

食事中、睡眠中に咳がある、日中過ごしている中で静かな遊びの活動場面でも咳が出ている状態は保育に支障があります。ご家庭で様子を見る、又は病後児保育をご利用ください。

保育中に明らかな有症状が見られている場合にはお迎えをお願いしますのでご了承ください。

～集団保育とは～

同じ年齢・クラスのお友達と同じ遊びをする、同じ時間に同じ場所で食べる、同じ場所で眠る。を基本としています。保育としての個別対応はしておりません。

発熱はない状態でも、咳はとても体力を消耗します。寝ているようで良い睡眠が取れていない場合もあり、登園後、眠気が強い、機嫌が悪い、動かない、といったケースが多く見られております。

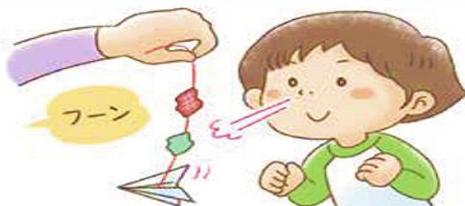
鼻水は程度によりますが、食事がいつも通りに取ることができない、鼻づまりで眠ることができない、内服薬で眠気が強い、などで通常保育が難しい場合も見られております。

その為、受診をし、薬を飲み始め、症状が明らかに軽減し、集団での保育をおくることのできる状態まで回復する数日間のご家庭で経過を見て頂きますよう、ご協力をお願い致します。

ふ～ん！ / **ではなをかむ練習から始めましょう**

大人にとってはなをかむのは簡単なことですが、小さな子どもは、鼻から息を吹き出すのも難しいもの。まずは練習から始めましょう。

鼻から息を吹いてみる



「お鼻からフーンって吹くよ」と声をかけて、鼻から息を吹き出させます。ティッシュペーパーや、糸につるした紙飛行機を顔の前に垂らし、揺らす遊びもおすすめ。

片方ふさいで吹いてみる



鼻から息を吹けるようになったら、片方の鼻の穴をふさいで、やさしく息を吹くよう声をかけます。上手になったら、ティッシュペーパーを当てて片方ずつはなをかませてみます。

Q2 「風邪」はお友達に感染しないのですか？

A：「感染をし、発症するお子さんもいれば、感染しても発症しないお子さんもいます。」

保育園は医療ではないので、検査も診断もできません。その為、明らかな有症状がある場合にはガイドラインに従い、症状が明らかに軽減している状態（保育活動に支障がない状態）までは登園を控えてください。

～検査の必要性について～

風邪のウイルスは何種類もあります。簡易検査で診断できるのはごく僅かです。そして、ほとんどのウイルスには、特効薬はなく、重症化しない限り、1週間から2週間程度で回復するため、対症療法が基本となります。その為、検査は医師が必要と判断した状態でのみ検査となります。

ウイルス、どうやってうつる？

風邪のウイルスは、感染している人のせきやくしやみ、会話の際のしぶき（飛沫）と共に飛び散ります。また、唾液や鼻水の中にも多く存在しています。ウイルスを含むしぶきを吸い込んだり、ウイルスのついた手を介して目や鼻、口からウイルスが体内に入ったりすることで感染します。

手を洗ってウイルスを洗い流そう

ウイルスが手についても、洗い流せば感染のリスクが下がります。手を洗うときは、せっけんをしっかりと泡立てて、指の間、指先までしっかり洗い、流水でよく流しましょう。



① ウイルスを含むしぶきを吸い込む



せきやくしやみのしぶきは2mほど飛ぶので、近くの人が吸い込むと感染します。

② ウイルスがついた手で目や鼻、口を触る



ウイルスが付着したものに手で触れると、ウイルスが手につきます。ただし、手についただけでは感染しません。

ウイルスのついた手で、目や鼻、口を触るとウイルスが体内に侵入します。

感染！

Q3 咳、鼻水、中耳炎はあるが発熱はなく、元気なので登園したいです。

A：『発熱はなく、遊ぶことができています』＝体調が完全に回復している状態ではありません。

※登園前に「登園のめやす」に従い、体調確認をお願いします。

□咳や鼻水は無く、しっかりと食事がとれましたか？

□咳や鼻水は無く、ぐっすりと眠ることができましたか？

※けんこうのしおりの「体調不良を感じたとき」の確認をお願いします。

＜ご協力をお願い致します＞

保育園はお友達や先生の集団の中で過ごす場所になります。

子ども達は通常、一日の8～9時間保育園におり、延長保育のお子さん達は10時間～11時間を保育園で過ごしています。一日の生活の多くの時間を保育園で過ごしている為、以下のご協力をお願い致します。

登園後、以下の症状が見られた場合は、お迎えをお願いしております。

- ×連続した咳や鼻水が出ている
- ×食事中に咳や鼻水がでることで、お友達への影響が大きい。
- ×午睡中に咳や鼻水で眠ることができない
- ×多量の下痢便がでた